

「高城プライド」 ～心と形を整える～

令和3年7月15日(木) NO14 文責 木下 文秋

心と形を整える

「高城プライド」という学校便りに「心と形を整える」というサブタイトルを付けて、できるだけ毎週ご家庭に届けられるように1学期頑張ってみました。「心と形を整える」の心とは、「優しく素直でたくましい心」が身につくように。形とは、「誰に対しても返事とあいさつができる人としての形」が身につくように。そのための努力を積み重ねることが高城中の誇り（プライド）と位置づけました。1学期、できることは精一杯やってみたつもりですが、心と形が整った生徒をどれだけ育むことができたかはわかりません。4月から毎朝45分まで生徒玄関に立ちましたが、生徒のあいさつは良くなったと感じています。でも、満足できるレベルには行き着いていないので二学期も継続しようと思います。もう一つ学校の質を高めなければと強く思っています。授業に取り組む態度、行事に取り組む意気込み、落ち着いたある学校生活の実現など、もっと質を高めていきたいと思っています。私たちは転勤族なので、これまで勤務してきた学校と比較をして、もっと頑張らせたいことやもっと伸ばしてあげたいことを把握できませんが、生徒はそれができないので、今の生活のレベルがスタンダード（標準）だと思っているはずですが、しかし、本当はもっとできることもあるし、高みを目指す必要もたくさんあります。高城中の生徒の持つポテンシャルはこんなもんじゃないと思うのです。それに気づかせ、チャンスを与え、成功経験を多く積ませることが我々の役目ですので、2学期はそういう準備も進めていきたいと思っています。そのために、多くの生徒にリーダーになって欲しいと願います。リーダーとは生徒会や学級三役だけを意味するものではありません。自ら学校の質を高めるように行動できる人を示します。その資質を持った生徒はたくさんいると確信しています。

自分の命は自分で守る

21日に終業式を迎え、夏休みに入ります。毎年、河川や海の事故で尊いかけがえのない命を落とすニュースを目にします。おぼれると思って水に入る人はどこにもいません。「まさか」が起きているということです。夏は開放的になり気持ちも大きくなります。自分の命は自分で守る正しい判断をしてください。225名の生徒と再会できることを楽しみにしています。